

関西大学経済・政治研究所

第218回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

本セミナーは、大阪を中心に関西全域を視野に入れつつ、近代の大阪がどのようにアジアとの経済関係を構築したのか、様々な事例研究を踏まえて検討することを目的としております。

19世紀後半から大阪は紡績業を中心に日本経済を支えました。貿易面では神戸が横浜と共に日本経済を牽引しました。そのため大阪と近代アジアの経済関係を考える時、神戸は無視できるものではありません。そのため本日は近代神戸を中心に考察します。

＜アジアにおける近代大阪の発展研究班 主幹 西村 雄志＞

日時：平成28年10月19日(水)13:00～16:10

会場：千里山キャンパス児島惟謙館2階第2会議室

【テーマと報告者】

「東アジアの経済発展と海外直接投資-台湾資本の対ベトナム進出を中心に-」

アジアにおける近代大阪の発展研究班研究員
関西大学・経済学部教授

北波 道子

「明治期の神戸・大阪における外国銀行」

アジアにおける近代大阪の発展研究班主幹
関西大学・経済学部教授

西村 雄志

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員100名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主催 関西大学経済・政治研究所
後援 大阪商工会議所
大阪工業会連合会
大阪産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学



130
KANSAI
UNIVERSITY